

(4) 教育や文化が輝く笑顔あふれる里の島

- 子どもたちが学ぶ力、生きる力を伸ばし、次代を担う人材として成長できるように、島しょ部の自然環境を活かした体験学習等の充実や学校施設・設備を整備するとともに、島の教育環境を活かし豊かな人間性を育むことや交流人口の拡大等を目的としたシーサイド留学制度導入の調査研究など、地域ぐるみで子どもを育む環境づくりを支援します。加えて、健全な青少年の育成を図り、地域の将来を担う人づくりを推進します。
また、船舶運賃補助などの就学者への各種支援制度を維持継続し、教育機会の向上を図ります。
- あらゆる年齢層が主体的に学習活動に参加し、生涯をとおして自主的に生きがいづくりに取り組むことができるように支援するとともに、高齢者の憩いの場や生涯現役として活動していける環境の整備を図ります。
- 島びとが主体となった文化活動等や、それらを次代へ継承する取り組みへの支援を行うとともに、積極的な情報発信や文化財の保護にも努めます。また、これらの貴重な財産や瀬戸内海一円に勢力を誇っていた忽那水軍の歴史などの地域資源を磨き、学習活動や観光などに有効活用する中で、島びとがその価値を再認識することにより、島びと主体の文化の保存・継承活動の広がりを推進し、時代に対応した新たな文化の創造を図ります。
- 子どもから高齢者まで、幅広い年齢層を対象に、島しょ部の特性を活かしたスポーツやレクリエーション等に親しむ環境整備に努めます。また、交流人口の拡大等を目的とした新たなスポーツ大会の創設などに取り組みます。

政策・施策

政策⑬ 明日を担う人材の育成

施策26 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進

施策27 魅力ある教育環境の整備

施策28 健全な青少年の育成

政策⑭ 生涯現役で過ごすまちづくり

施策29 学び高め合う生涯学習の推進

政策⑮ 里島の歴史・文化を活かしたまちづくり

施策30 島の歴史を物語る文化財の保存と活用

施策31 次代に残す誇り高い地域文化の継承・創造活動の推進

政策⑯ スポーツをとおした活力あるまちづくり

施策32 スポーツに親しむ環境整備



お大師参りウォーキング(睦月島)

(5) 福祉が輝く笑顔あふれる里の島

- 島びとが安全・安心に暮らすために必要な、病院経営の安定化や医師等の確保など地域医療の充実を図るとともに、緊急時には適切かつ迅速な医療サービスを受けることができる医療体制の維持確保を図ります。また、島びとが生涯にわたって健やかで元気な生活が送れるよう、地域に密着した保健活動を展開し、島びとの健康づくりを支援します。
- 地域全体で子育てを支援し、子どもが健やかに成長できる環境を整備し、里島の未来を拓く子どもたちの育成を図ります。
- 高齢者や障がい者が安心して暮せる里島の実現に向け、医療機関との連携や生活などに関する支援のほか、介護保険や社会保障制度などについては、社会・経済動向を踏まえた適切な対応を図ります。また、高齢者や障がい者が里島で自立した生活が送れるよう、地域で支援する体制づくりに努め、地域を基盤とした福祉活動を推進します。

政策・施策

政策⑰ 健康づくりの推進と医療体制の維持確保

- 施策33 安全・安心な救急医療体制の維持確保
- 施策34 生涯をとおした心と体の健康づくり

政策⑱ 未来を拓く子どもたちの育成

- 施策35 安心して生み育てることができる環境整備

政策⑲ 支え合う福祉のまちづくり

- 施策36 高齢者が元気に暮らせる環境整備
- 施策37 障がい者にやさしい環境整備
- 施策38 地域福祉が充実し安心して暮らせる環境整備



地引網体験イベント(野忽那島)



忽那諸島夕景



島の全景(釣島)



恋人岬(興居島)



怒和小学校からの景色(怒和島)



海岸からの景色(二神島)

7. 島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト

島しょ部の活性化を図り、「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる^{さと}里の島」を実現するため、島に住む人にとって「暮らしやすい島」であり、また島外に住む市民からも親しまれ愛される「市民の第二のふるさとの島」として感じていただけるようなまちづくりを展開していく必要があります。

そこで、「島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト」として次の施策を積極的に推進していきます。

(1)「暮らしやすい島」をめざす取り組み

① 海上交通の利便性の向上

海上交通は島と本土を結ぶ唯一の交通手段で、通院や日用品の買物など他の地域に依存しなければならない島びとにとって、島での生活を支える生命線となっています。

そこで、島びとから要望の多い、便数の確保や運賃負担の軽減、航路の維持については、島びとをはじめとする利用者・船会社・行政の協働により、コストや利便性などを多面的に考慮しながら、各種船賃助成制度の維持・拡充など、これらの課題解決に取り組みます。また、老朽化した船舶の更新の課題への対応について、調査研究を進めます。



フェリー じんわ

② 安全で安心して暮らせる島づくり

島しょ部では、互いに顔が見える関係を築き、人と人が支え合うことで暮らしの安全や安心を守る体制を維持してきました。

特に、台風や高潮など自然災害への対策や対応が求められており、島ごとの固有の課題や防災体制の実態を把握した上で、避難所の整備や避難体制の見直しなど、総合的な対策を検討する必要があります。

また、高齢者が多い島では、医療や介護体制の維持確保が重要な課題となっています。

そこで、島の強みである、互いに支え合う関係やコミュニティのつながりを活かしつつ、救急医療を含めた医療・介護体制の維持確保を図るとともに、防災対策、消防・救急などの課題については基盤整備を推進し、島びとが安全安心に笑顔で暮らせる島づくりに取り組みます。